



島崎浩志社長

千葉県L.P.ガス協会（小倉晴夫会長）は業界の存続を目指す県L.P.ガスロードマップ「ライフパートナーへの道」に沿った取り組みを今年度から始めており、第一の目標に会員のインターネット環境の確立を掲げる。

設を請け負い、県協会と  
一体となって業界の発展  
を後押ししている。

高まっており、自社サイトについて「会社の名刺や看板になる。検索して出てこないと、消費者は取引が不安になる」と指摘する。

は「会社に向き合つてく  
れるお客様を大事にす  
ること。

とし発信を継続すべきと  
話す。例えば、キャンペー  
ンなどイベントを実施  
する際には3度の周知機  
会があるという。1回目  
は開始前の「間もなく始  
まります」。2回目は期  
間内の「実施中です」。

の特性を整理し、個々の企業にうつてつけのサイトに仕上げる。コピー・ライティング、ロゴマーク、キャラクターの制作も全面的に支援し、サイト完成後も更新とメンテナンスをサポートする。

# ネット環境確立後押し シーエスクリエイト 千葉県協と一体で

シーエス  
クリエイト 千葉県協と一体で

が発表を以て十  
ポイントだ。

内外を問  
ポイントだ。

わず多くの  
絵

「ジップ」の略。独自の表記とじダイレクトメール

どの回で講師をス外収益の拡大にあると務め、自社サイトを開く有用性を解説。スマートフォンの普及などでネットの使用率が高い傾向があり、商品を購入できる金銭的余裕を持つ者がサイトを放置するケース。更新しなければ付ける。この流れが島崎社長の思い描く理想だ。良くなない例として挙げ境が望ましい。重要なのは「すぐにさびてしまつ」

L.Pガス事業を作ってきたマップ初年度限つても、1県内の事業者に手掛けた。をもとに注力

者のサイト  
が、ロード  
の今年度に  
月末時点  
6件を新た  
ヒアリング  
事業や地域

リービス「トナーシーラーム」を中心販売促進支援を担う。主要取引先はリンナイ、三愛オノリガス東日本、ミノスなど数多く全国的な展開を進めている。